

インフォテリア、IoT ソフトウェア基盤事業に参入 IoT 活用でフィールド業務効率化を実現する IoT 活用モバイルクラウド基盤「Platio (プラティオ)」を発表

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）は、IoT ソフトウェア基盤事業の第1弾として、IoT 機器の現場業務での活用を実現するモバイルクラウド基盤「Platio (プラティオ)」を2017年1月下旬から提供開始することを発表します。また、サービス提供開始に先駆けて評価版（無償）の提供を本日より開始します。

■ 背景～IoT 活用で求められる俊敏性

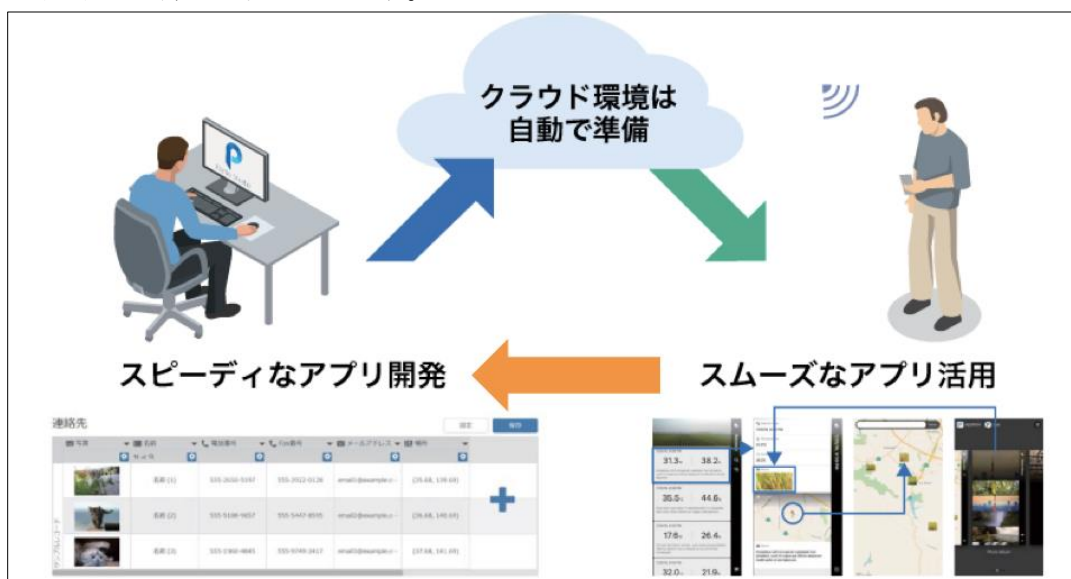
昨今、ヘルスケア、土木建築、農林水産などのフィールド業務において、IoT (Internet of Things) デバイスを活用した業務革新や業務改善が注目されています。そのため既に多くの企業から通信機能を備えた身体情報を把握する機器、工作機械や製造物に埋め込めるセンサー、赤外線対象物を把握する装置など多様な IoT 機器が提供され始めています。

一方、IoT 機器を業務で活用するためには個々の業務に合わせた IoT 対応のモバイルアプリが必要です。しかし、フィールドにおける IoT 活用はまだ成熟しておらず、現場との対話を通じて柔軟かつ俊敏にアプリを更新し、業務を改善・変革させていくことが必要です。

これまで、このような IoT 機器を活用したモバイルアプリ環境を構築するためには、個々の業務専用のアプリ開発に加え、業務データや認証情報を保存するサーバーの準備、さらにフィールド担当者へアプリを配布するというプロセスがそれぞれ独立して必要であり、俊敏にアプリを更新し、IoT 活用による俊敏な業務改善を実現するのは難しい状況でした。

■ Platio の概要

新製品「Platio (プラティオ)」は IoT 機器を活用したアプリ開発と、サーバー側プログラムの開発、アプリの配布、システム全体の運用をプログラミングの知識がなくても簡単に行えるソフトウェア開発基盤です。利用者はカスタマイズ可能なテンプレートを利用してアプリを簡単に作成することが可能で、そのデータベースはアプリのデータ構造から自動的にクラウド上に準備され、アプリの配布や更新が可能となります。



更に対応済みの IoT 機器には、特別な準備をすることなく Platío から即座に接続することができ、自動的に IoT 機器からのデータの収集が可能です。すでに血圧計や体温計などのヘルスケア領域を始め、気温や湿度を計測する IoT 機器との接続に対応しています。対応 IoT 機器は、評価版の提供を通じて順次追加されます。

対応デバイスの例

検診用デバイス: 血圧、体温、体重など

株式会社エー・アンド・デイ



血圧計 UA-651BLE



体温計 UT-201BLE



体重計 UC-352BLE

その他



Senic社 Nuimo
ユーザーの回転やクリックなどの操作を取得



Cerevo社 BlueNinia
IoT製品を簡単につくれる
超小型モジュール。9軸
センサーと気圧センサーを搭載。

Platío は、正式サービス開始時においては、iOS モバイル機器 (iPhone, iPad) に対応し、順次対応モバイル機器を増やしていく予定です。通信手順としては、BLE(Bluetooth Low Energy)に対応し、モバイル機器の進化に応じて対応通信手順も追加していく予定です。

インフォテリアでは、様々な IoT 機器による業務の効率化が期待できるヘルスケア、土木建設、農林水産などのフィールド業務での活用を想定する他、IoT 機器を必ずしも必要としないが機敏なモバイルアプリの構築・運用が求められる物流や流通などの現場での活用を想定しています。

<農業での利用イメージ>

気象情報の把握	気象情報と画像の連携	マッピング
<p>7/20/16, 8:39 PM 31.3°C 38.2%</p> <p>7/20/16, 8:38 PM 35.5°C 44.6%</p> <p>7/20/16, 8:35 PM 17.6°C 26.4%</p> <p>7/20/16, 8:33 PM 32.0°C 21.9%</p>	<p>Date & Time 7/20/16, 8:39 PM</p> <p>Temperature 31.3°C</p> <p>Humidity 38.2%</p> <p>Photo </p> <p>Location </p> <p>Memo Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.</p>	

■ 評価版の提供について

インフォテリアでは、サービス提供開始を前に、無料で Platio をお試しいただける評価版を提供します。評価版の提供は、安定した正式サービス実現のために、参加者を限定して、製品機能ニーズの最終的な見極め、機能の動作確認、サーバーの負荷測定、対応 IoT 機器の追加などを目的として実施する実証実験です。評価版の提供を通じて得られた情報や、お客様からいただくご意見・ご感想をもとに、よりよいサービスが提供できるように努めてまいります。

募集期間	2016年10月27日(木)～12月28日(水)
無償提供期間	2016年11月1日(火)～1月31日(火)※予定
応募条件	<p><IoT機器のユーザー> iPhone, iPad を活用したフィールド業務改善を検討中・実施中であること、または評価を行うための iPhone, iPadなどを保有していること。</p> <p><IoT機器提供企業> Platio で対応可能な IoT 機器を提供しているまたは予定があること。</p>
応募方法	「Platio」公式サイト(https://plat.io)内にある、評価版申し込みフォームからお申し込みください。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者多数の場合は、弊社独自の選考基準で評価版提供者を決定します。 ・当選された方のみ応募時に入力されたメールアドレスへご連絡します。 ・評価版提供の実施期間および内容は、予告なく変更する場合があります。

■ Platio サービス仕様

サービス名称	Platio (プラティオ)
サービス提供 URL	https://plat.io/
対応モバイル機器	iPhone, iPad (iOS 9 以上) ※Windows 10, Android も将来的に対応予定
対応言語	日本語、英語 ※中国語版も提供予定
対象国・地域	特定しない
対応 IoT デバイス	各種 IoT 計測器、IoT センサーなど 個別名称は https://plat.io/ を参照 順次追加予定
IoT デバイスとの通信手順	Bluetooth Low Energy 今後、iBeacon などモバイル機器が対応する通信手順に対応予定
最大アプリ開発数	無制限 ※一定数以上は追加課金あり
最大アプリ配布先数	無制限 ※一定数以上は追加課金あり
最大アプリ更新回数	無制限 ※更新回数による追加課金なし
最大データストア量	無制限 ※一定量以上は追加課金あり

■ インフォテリアの IoT 製品と今後の戦略

インフォテリアでは、スマートデバイスやビッグデータ技術の更なる発展と IoT や AI 時代の本格的な到来を見据え、ヒト、モノ、情報の柔軟な共創を実現するデジタル基盤を提案しており、IoT 関連では Platio を含め 2 つの製品リリースを計画しています。

この度リリースする Platio に続き、インフォテリアでは IoT ソフトウェア基盤製品第 2 弾として「モノをつなぐ」ことでビジネスを自動化するエッジコンピューティング基盤である「Gravity」(開発コード名)の準備を進めており、本年度内の提供開始を予定しています。

インフォテリアでは本格的な IoT 時代の到来に向け、IoT を活用したビジネス変革を支援するソフトウェア基盤を提供し、IoT を活用した社会システムの進化に貢献してまいります。

■ IoT 関連企業からのコメント

ウフルは、この度の「Platio」発表を心より歓迎いたします。IoT システムはクラウドによって大量データの高速度処理が可能となりました。そして、「デバイス接続の多様性」と「処理の即応性」を実現するために「エッジコンピューティング」という考え方が普及しようとしており、これは IoT が広く普及するために必要不可欠な要素です。さらに、製造業、建設など IoT によるビジネス変革が期待できる現場では、ニーズに合った IoT モバイルアプリを俊敏に開発・改善することが必要となるため、Platio がこの課題解決につながるものと確信しています。

株式会社ウフル 上級執行役員 IoT イノベーションセンター所長 八子 知礼

さくらインターネットは、インフォテリア様の Platio の発表を、心より歓迎いたします。当社は、さくらの IoT プラットフォームの提供を通じて、多くのデバイスが閉域網で安全につながることを支援しており、今後普及が見込まれるエッジコンピューティングにおいても、最適なソリューション作りを進めています。このような中で、今回発表された「Platio」と、さくらの IoT プラットフォーム、さくらのクラウドを閉域網で接続し、連携させることにより、ビジネスの現場にさらなる IoT の価値向上がもたらされると確信しています。

さくらインターネット株式会社 代表取締役社長 田中 邦裕

■ 「インフォテリア株式会社」について（Web サイト <https://www.infoteria.com/>）

1998 年に国内初の XML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 5,646 社（2016 年 6 月末現在）の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,060 件（2016 年 6 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.infoteria.com/jp/news/press/2016/10/27_02.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

インフォテリア株式会社 広報・IR 室 長沼史宏

TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: press@infoteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

インフォテリア株式会社 ネットサービス事業本部 マーケティング部 松村宗和

TEL:03-5718-1250 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: pm@infoteria.com

インフォテリア、Platio、ASTERIA、Handbook はインフォテリア株式会社の登録商標です。本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。